

令和 3 年

青森県海面漁業に関する調査結果書

(属地調査年報)

青森県農林水産部水産局水産振興課

令和3年

青森県海面漁業に関する調査結果書（属地調査年報）

青森県農林水産部水産局水産振興課

（背表紙）

## は し が き

青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき 22 市町村を対象に毎月実施しているものです。

このたび、令和 3 年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたので、結果書（年報）として公表します。

この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。

おわりに、この調査の実施に際し、御協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。

令和 4 年 3 月

青森県農林水産部水産局水産振興課長 白取 尚実

## 目 次

調査の要領	1
結果の概要	2
対前年比較表	
第 1 表 魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）	10
第 2 表 魚種別漁獲数量・金額比較表（対 5 か年平均比）	12
第 3 表 月別漁獲数量比較表	14
第 4 表 月別漁獲金額比較表	14
第 5 表 分類別漁獲数量比較表	15
第 6 表 分類別漁獲金額比較表	15
第 7 表 主な魚種別漁獲数量比較表	16
第 8 表 主な魚種別漁獲金額比較表	17
第 9 表 漁業種類別漁獲数量比較表	18
第 10 表 漁業種類別漁獲金額比較表	19
第 11 表 市町村別漁獲数量比較表	20
第 12 表 市町村別漁獲金額比較表	21
県計表	
第 1 表 年 総 括 表	22
第 2 表 月 別 表	36
市町村計表	
第 1 表 魚種別漁獲数量及び漁獲金額	42
第 2 表 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額	67
第 3 表 月別漁獲数量及び漁獲金額	72

# 調 査 の 要 領

## 1 調査事項

- (1) 魚種別漁業種別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種別漁獲金額

## 2 調査時期

毎 月

## 3 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

## 4 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

## 5 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

## 6 記号の表示

「※」：おいらせ町及び階上町の数値については、八戸市と三沢市の数値と重複する魚種があるため、一部合計値に加算していません。

## 結果の概要

### 1. 漁獲数量及び漁獲金額

#### (1) 概況

令和3年の青森県の漁獲数量は144,610トン、漁獲金額は327億5,107万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量では22,579トン(13.5%)減少し、漁獲金額では14億3,241万円(4.2%)減少した。

#### (2) 主な増減要因

漁獲数量及び漁獲金額が前年と比較して減少した主な要因は、「さば」、「するめいか」の漁獲数量が大きく減少したことによるものと考えられる。

#### (3) 過去5年間の平均との比較

過去5年間の平均と比較すると、漁獲数量では61,611トン(29.9%)減少し、漁獲金額では156億6,620万円(32.4%)減少した。

漁獲が好調であった魚種は「すけとうたら」(漁獲数量対平年比150.8%)等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「さば」(37.7%)、「するめいか」(38.5%)等であった。

#### (4) 過去10年間の平均との比較

過去10年間の平均と比較すると、漁獲数量では66,134トン(31.4%)減少し、漁獲金額では150億5,776万円(31.5%)減少した(表、図1)。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁獲数量		漁獲金額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成15年	280,518		51,655	
平成20年	261,354		53,171	
平成21年	289,027	10.6	51,187	△ 3.7
平成22年	246,690	△ 14.6	51,825	1.2
平成23年	194,265	△ 21.3	46,118	△ 11.0
平成24年	227,507	17.1	44,272	△ 4.0
平成25年	185,855	△ 18.3	44,660	0.9
平成26年	218,644	17.6	48,024	7.5
平成27年	250,029	14.4	52,928	10.2
平成28年	249,653	△ 0.2	63,530	20.0
平成29年	206,250	△ 17.4	57,104	△ 10.1
平成30年	216,718	5.1	45,546	△ 20.2
平成31年	191,322	△ 11.7	41,723	△ 8.4
令和2年	167,188	△ 12.6	34,183	△ 18.1
令和3年	144,610	△ 13.5	32,751	△ 4.2
平成23年～令和2年 までの平均 (A)	210,743		47,809	
令和3年／(A)%	68.6 %		68.5 %	

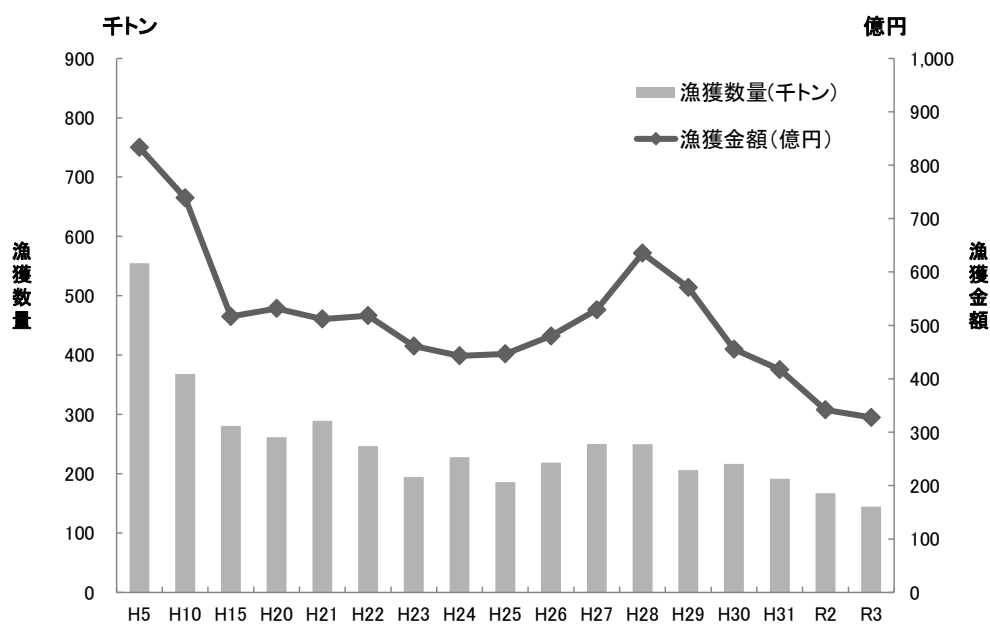


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

## 2. 月別漁獲数量及び漁獲金額

### (1) 月別漁獲数量

令和3年の漁獲数量を月別にみると、6月が26,096トンで最も多く全体の18.0%を占め、次いで5月の24,814トン(17.2%)、7月の24,314トン(16.8%)となっている(図2、第3表)。

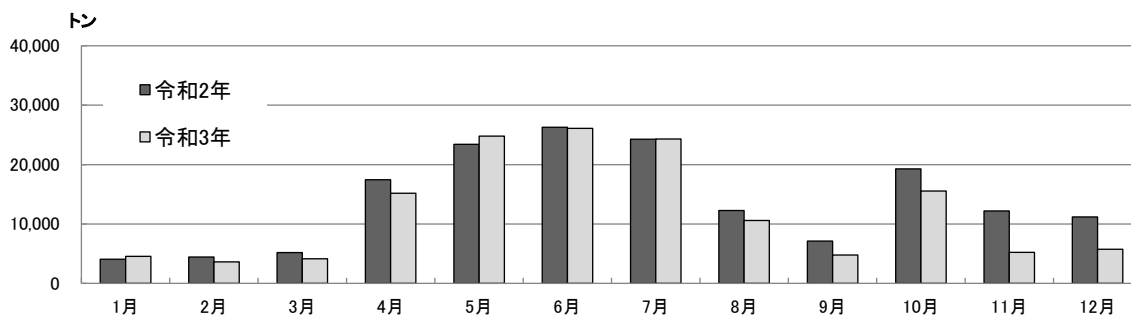


図2 月別漁獲数量

### (2) 月別漁獲金額

令和3年の漁獲金額を月別にみると、6月が51億3,172万円が最も多く全体の15.7%を占め、次いで7月の48億7,604万円(14.9%)、5月の43億7,278万円(13.4%)となっている(図3、第4表)。

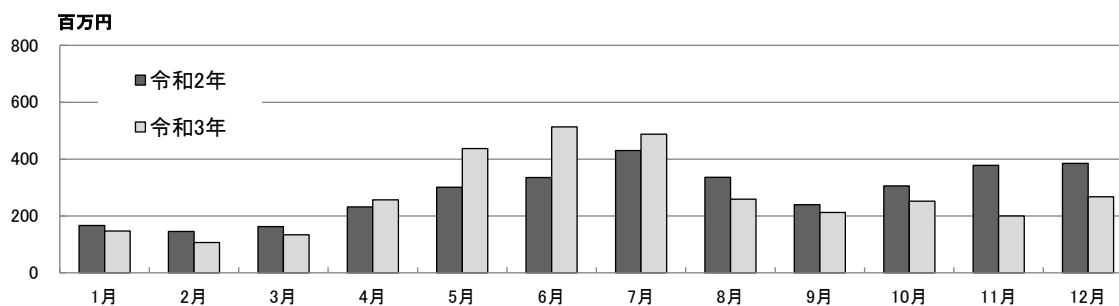


図3 月別漁獲金額



### 3. 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

#### (1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

##### ①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、ほたてがい等の「貝類」が78,503トンで最も多く全体の54.3%を占め、次いでまいわし等の「魚類」51,768トン(35.8%)、「その他の水産動物」12,740トン(8.8%)、「藻類」1,599トン(1.1%)の順となっている。

前年と比較すると、「魚類」は12,182トン(19.0%)減少、「貝類」は2,561トン(3.2%)減少、「その他の水産動物」は8,408トン(39.8%)減少、「藻類」は572トン(55.8%)増加した(図4、第5表)。

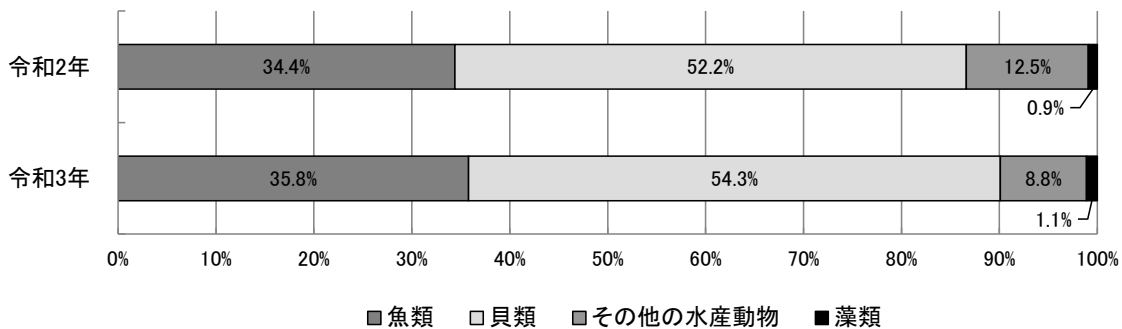


図4 分類別漁獲数量の構成比

##### ②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「貝類」が138億9,724万円で最も多く全体の42.4%を占め、次いで「その他の水産動物」94億3,968万円(28.8%)、「魚類」89億9,216万円(27.5%)、「藻類」4億2,199万円(1.3%)の順となっている。

前年と比較すると、「魚類」は26億8,859万円(23.0%)減少、「貝類」は43億7,561万円(46.0%)増加、「その他の水産動物」は31億9,163万円(25.3%)減少し、「藻類」は7,220万円(20.6%)増加した(図5、第6表)。

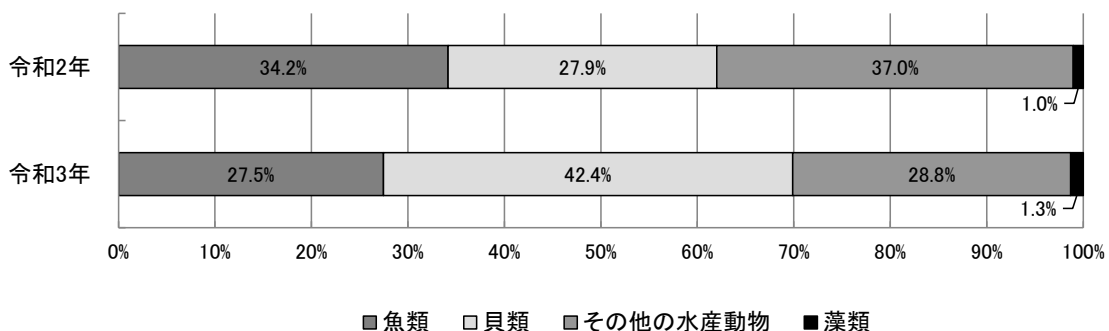


図5 分類別漁獲金額の構成比

## (2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

### ①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」77,908トン（構成比53.9%）、「いわし類」20,205トン（14.0%）、「さば」12,367トン（8.6%）、「するめいか」5,782トン（4.0%）、「たら」4,162トン（2.9%）、「あかいか」3,324トン（2.3%）などとなっている。

前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「たら」727トン（21.2%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は、「あかいか」3,204トン（対前年減少率49.1%）、「するめいか」4,824トン（45.5%）などとなっている（図6、第1表、第7表）。

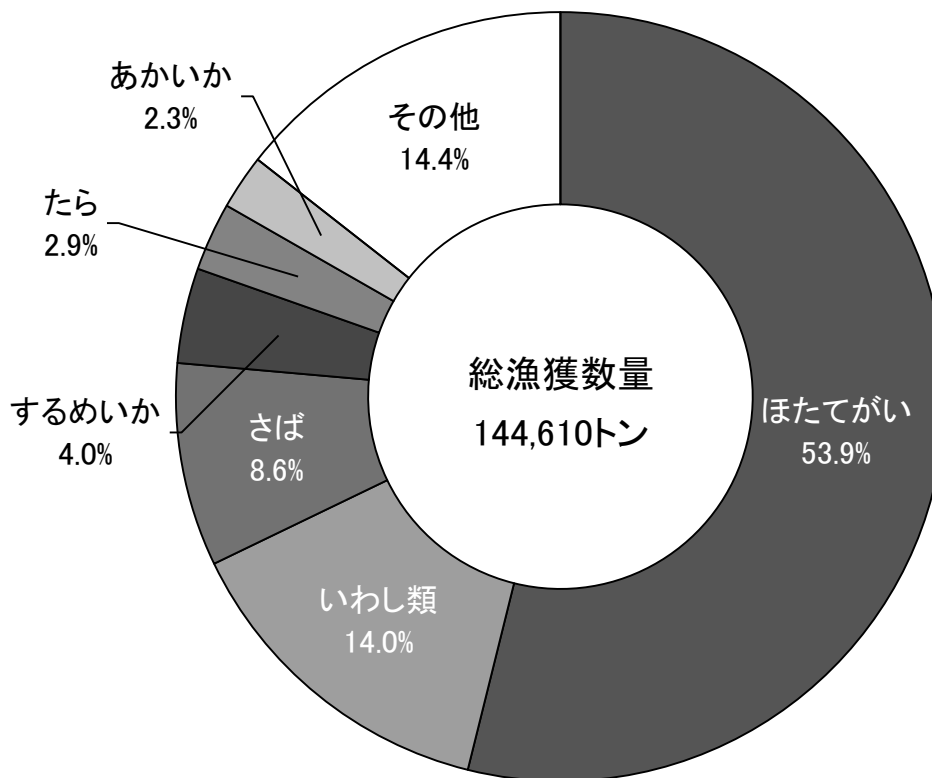


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

## ②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「ほたてがい」136億1,971万円（構成比41.6%）、「するめいか」39億6,698万円（12.1%）、「なまこ」18億5,073万円（5.7%）、「まぐろ」17億4,997万円（5.3%）、「あかいか」14億4,120万円（4.4%）、「さば」10億2,252万円（3.1%）などとなっている。

前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「ほたてがい」44億389万円（対前年増加率47.8%）、「なまこ」8,060万円（4.6%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「さば」17億4,347万円（対前年減少率63.0%）、「するめいか」24億2,876万円（38.0%）などとなっている（図7、第1表、第8表）。

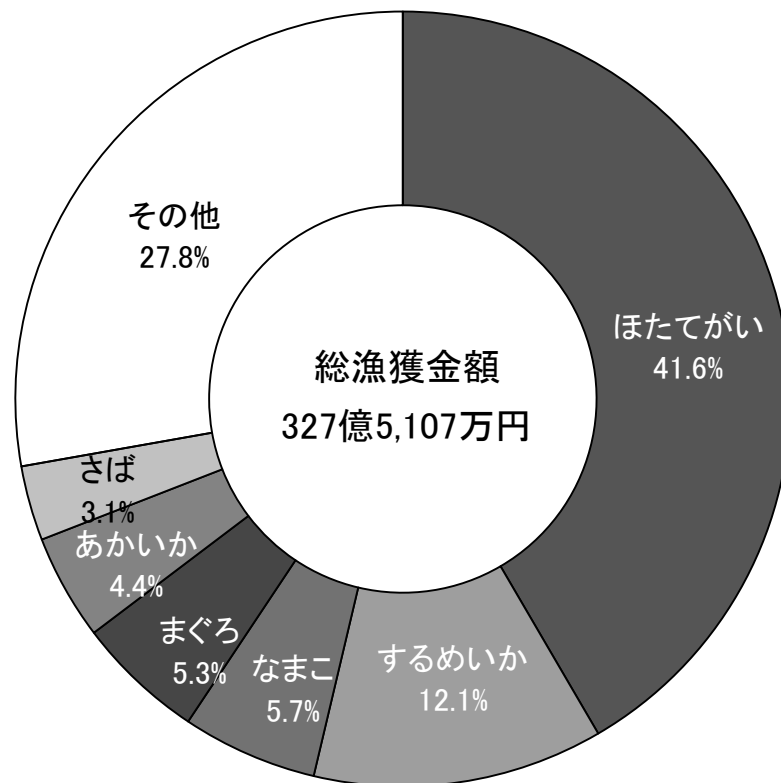


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

## 4. 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

### (1) 漁業種類別漁獲数量

主な漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「養殖業」が79,006トン（構成比54.6%）で最も多く、次いで「まき網漁業」28,290トン（19.6%）、「いか釣漁業」7,444トン（5.1%）となっている。

前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「大型定置網漁業」627トン（対前年増加率21.9%）、「採藻漁業」586トン（60.3%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「まき網漁業」12,426トン（対前年減少率30.5%）、「いか釣漁業」4,772トン（29.1%）などとなっている（第9表）。

### (2) 漁業種類別漁獲金額

主な漁業種類別の漁獲金額及び構成比をみると、「養殖業」が141億9,293万円（構成比43.3%）で最も多く、次いで「いか釣漁業」42億4,562万円（13.0%）、「沖合底曳網漁業」20億7,827万円（6.3%）となっている。

前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「養殖業」45億5,636万円（対前年増加率47.3%）、「小型機船底曳網漁業」1億7,214万円（28.1%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「まき網類漁業」25億743万円（対前年減少率62.3%）、「いか釣漁業」19億4,259万円（31.4%）などとなっている（第10表）。

## 5. 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

### (1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が 44,276 トンで最も多く全体の 30.6%を占め、次いで平内町 26.8%、青森市 10.7%、外ヶ浜町 8.0%、むつ市 4.6%の順となっている。

前年と比較してみると、漁獲数量が増加したのは、青森市 996 トン（対前年増加率 6.8%）、深浦町 406 トン（9.1%）、佐井村 302 トン（26.1%）、横浜町 243 トン（6.6%）ほか 5 市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、八戸市 16,720 トン（対前年減少率 27.4%）、平内町 2,143 トン（5.2%）、むつ市 1,574 トン（19.1%）、蓬田村 1,549 トン（25.4%）ほか 9 市町村となっている（図 8、第 11 表）。

### (2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が 79 億 1,614 万円で最も多く全体の 24.2%を占め、次いで平内町 22.9%、青森市 8.3%、むつ市 7.5%、外ヶ浜町 7.1%の順となっている。

前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、平内町 22 億 334 万円（対前年増加率 41.6%）、青森市 9 億 7,615 万円（56.6%）、外ヶ浜町 5 億 90 万円（27.4%）、横浜町 2 億 2,041 万円（27.9%）ほか 7 市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、八戸市 42 億 6,819 万円（対前年減少率 35.0%）、三沢市 4 億 5,740 万円（46.1%）、東通村 4 億 4,840 万円（23.6%）、六ヶ所村 2 億 8,178 万円（40.1%）ほか 7 市町村となっている（図 9、第 12 表）。

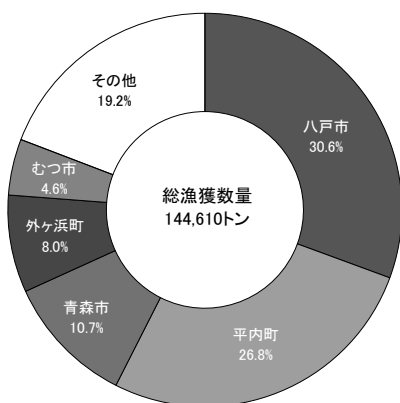


図 8 市町村別漁獲数量の構成比

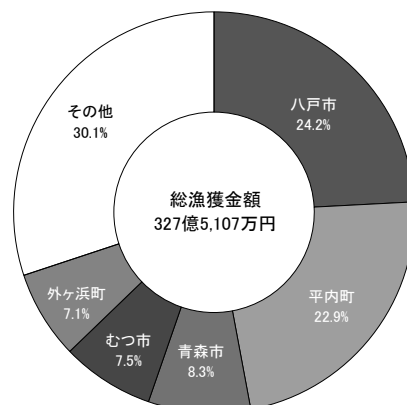


図 9 市町村別漁獲金額の構成比